

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2008-299514

(P2008-299514A)

(43) 公開日 平成20年12月11日(2008.12.11)

(51) Int.Cl.		F I		テーマコード (参考)
G06Q 30/00	(2006.01)	G06F 17/60	3 2 4	
G06Q 10/00	(2006.01)	G06F 17/60	3 0 2 E	
G06F 13/00	(2006.01)	G06F 17/60	5 0 6	
		G06F 13/00	5 1 0 C	

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 18 頁)

(21) 出願番号	特願2007-143718 (P2007-143718)	(71) 出願人	598098526
(22) 出願日	平成19年5月30日 (2007. 5. 30)		アルゼ株式会社
		(74) 代理人	100086586
			弁理士 安富 康男
		(72) 発明者	伊藤 貴
			東京都江東区有明 3 丁目 1 番地 2 5

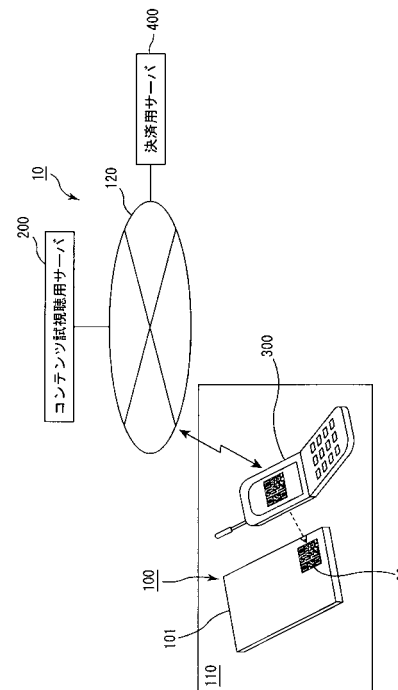
(54) 【発明の名称】 コンテンツ試視聴用サーバ及びコンテンツ試視聴システム

(57) 【要約】

【課題】利用者の購買意欲をより確実に喚起することが可能なコンテンツ試視聴用サーバを提供すること。

【解決手段】記録媒体又はそのパッケージ若しくは付属物に付されたコンテンツの識別データを読取可能な端末機と通信回線を介して通信可能であり、識別データに対応付けて、該識別データのコンテンツに対応した複数種類の試視聴用コンテンツデータを記憶する記憶装置と、演算処理装置とを備え、演算処理装置は、端末機から、識別データを受信し、更に、複数種類の試視聴用コンテンツデータの何れか1つを指定する旨の指定信号を受信した場合、記憶手段に記憶された試視聴用コンテンツデータのなかから、識別データに対応し、且つ、指定信号により指定された試視聴用コンテンツデータを抽出し、該試視聴用コンテンツデータを端末機に配信する配信処理を実行するコンテンツ試視聴用サーバ。

【選択図】 図 1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

コンテンツを再生するためのコンテンツデータが記録された記録媒体又はそのパッケージ若しくは付属物に付されたコンテンツの識別データを読み取可能な端末機と通信回線を介して通信可能なコンテンツ試視聴用サーバであって、

前記識別データに対応付けて、該識別データのコンテンツに対応した複数種類の試視聴用コンテンツデータを記憶する記憶装置と、

演算処理装置と

を備え、

前記演算処理装置は、前記端末機から、前記識別データを受信し、更に、複数種類の試視聴用コンテンツデータの何れか 1 つを指定する旨の指定信号を受信した場合、前記記憶手段に記憶された試視聴用コンテンツデータのなかから、前記識別データに対応し、且つ、前記指定信号により指定された試視聴用コンテンツデータを抽出し、該試視聴用コンテンツデータを前記端末機に配信する配信処理を実行することを特徴とするコンテンツ試視聴用サーバ。

10

【請求項 2】

前記記憶装置は、更に、前記コンテンツデータを記憶するものであり、

前記演算処理装置は、前記配信処理により配信された又は配信されている試視聴用コンテンツデータに対応するコンテンツを購入する旨の購入要求信号を前記端末機から受信した場合、該コンテンツに予め定められた額に応じた決済処理を行い、前記決済処理が完了したことを条件に、前記コンテンツデータを、前記端末機にダウンロードする処理を行うことを特徴とする請求項 1 に記載のコンテンツ試視聴用サーバ。

20

【請求項 3】

1 つの識別データに対応付けられたコンテンツは、複数の単位コンテンツからなり、

1 つの識別データに対応付けられて前記記憶装置に記憶された複数種類の試視聴用コンテンツデータは、夫々、前記複数の単位コンテンツの夫々に対応するものであり、

前記記憶装置は、更に、前記単位コンテンツを再生するための単位コンテンツデータを記憶するものであり、

前記演算処理装置は、前記配信処理により配信された又は配信されている試視聴用コンテンツデータに対応する単位コンテンツを購入する旨の購入要求信号を前記端末機から受信した場合、該単位コンテンツに予め定められた額に応じた決済処理を行い、前記決済処理が完了したことを条件に、該単位コンテンツを再生するための単位コンテンツデータを、前記端末機にダウンロードする処理を行うことを特徴とする請求項 1 に記載のコンテンツ試視聴用サーバ。

30

【請求項 4】

前記端末機は、携帯端末機であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 に記載のコンテンツ試視聴用サーバ。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 に記載のコンテンツ試視聴用サーバと、

前記コンテンツ試視聴用サーバと通信回線を介して通信可能な端末機と

を備えたことを特徴とするコンテンツ試視聴システム。

40

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、コンテンツ試視聴用サーバ及びコンテンツ試視聴システムに関する。

【背景技術】**【0002】**

従来から、CD や DVD 等のメディアの販売店等においては、スピーカやヘッドホンを備えた試視聴機が設置されている。このような試視聴機は、販売促進を目的として、即ち、試視により購買意欲を喚起し、その購買意欲を速やかに販売に繋げるために、設置され

50

ているものである。

【 0 0 0 3 】

従来の試視聴機としては、例えば、新たに販売された商品（メディア）や、販売促進中の商品等、予め店舗側で準備された特定の商品のなかから、利用者によってその何れか１が選択されると、その商品に対応したコンテンツが再生される試視聴機が存在する。この試視聴機は、視聴可能な商品が店舗側で定められているため、利用者の嗜好を満足することが困難であり、特定の商品の販売促進にしか繋がらないという問題があった。

【 0 0 0 4 】

また、従来のコンテンツ試視聴システムとしては、例えば、店舗内に設置され、商品に付されたバーコードを読取可能なバーコードリーダを備えた専用端末と、各商品に対応するコンテンツデータを記憶するサーバとを備えたシステムが存在する（例えば、特許文献１参照）。特許文献１に記載のシステムによれば、利用者は視聴を行った時点で既に商品を手に行っているため、購買意欲を販売に結び付け易い利点がある。また、サーバから専用端末にコンテンツを配信する形態をとるため、サーバにコンテンツデータを一元管理及び集積することができ、店舗内の多数の商品（メディア）を対象とした試視聴を可能とすることができる。従って、多くの商品の販売促進を行い易い利点がある。

【 0 0 0 5 】

【特許文献１】特開２００３－１０８１５３号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 6 】

しかしながら、このようなシステムにおいては、再生されるコンテンツが１～２分程度であり、販売者側で定められているため、利用者の購買意欲を喚起し得ないという問題があった。すなわち、利用者は、テレビやラジオ、インターネット等を介して視聴した映画等の特定のシーンや、音楽のサビやイントロ等、コンテンツの或る部分から強い印象を受け、試視聴を行うことが一般的であるため、再生される部分が販売者側で定められていると、利用者の記憶に残っている部分と合致しない可能性があり、そのような場合には利用者の購買意欲を喚起することが困難であるという問題があった。

【 0 0 0 7 】

また、コンテンツのどの部分に強い印象を受けるかは、個人の嗜好によるものであるから、再生される部分が販売者側で定められていると、仮にその部分が利用者の記憶に残っている部分と合致したとしても、その部分が利用者の嗜好に沿わないものであれば、利用者の購買意欲を喚起することができない可能性があった。

【 0 0 0 8 】

逆に、単にコンテンツ全体の試視聴を可能としても、利用者の購買意欲が喚起される部分は、コンテンツ全体の一部であることが一般的であるため、コンテンツ全体の試視聴が必ずしも購買意欲の喚起には繋がらないし、長時間にわたって試視聴されることにより、却って販売効率の低下を招来するおそれがあった。

【 0 0 0 9 】

本発明は、上述した課題に鑑みてなされたものであり、その目的は、利用者の購買意欲をより確実に喚起することが可能なコンテンツ試視聴用サーバ及びコンテンツ試視聴システムを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 1 0 】

上述した課題を解決するために、本発明は、以下のようなものを提供する。

（１） コンテンツを再生するためのコンテンツデータが記録された記録媒体又はそのパッケージ若しくは付属物に付されたコンテンツの識別データを読取可能な端末機と通信回線を介して通信可能なコンテンツ試視聴用サーバであって、上記識別データに対応付けて、該識別データのコンテンツに対応した複数種類の試視聴用コンテンツデータを記憶する記憶装置と、

10

20

30

40

50

演算処理装置と
を備え、

上記演算処理装置は、上記端末機から、上記識別データを受信し、更に、複数種類の試視聴用コンテンツデータの何れか1つを指定する旨の指定信号を受信した場合、上記記憶手段に記憶された試視聴用コンテンツデータのなかから、上記識別データに対応し、且つ、上記指定信号により指定された試視聴用コンテンツデータを抽出し、該試視聴用コンテンツデータを上記端末機に配信する配信処理を実行することを特徴とするコンテンツ試視聴用サーバ。

【0011】

(1)の発明によれば、先ず、利用者は、端末機を利用して、識別データを読み取り、更に、複数種類の試視聴用コンテンツデータの何れか1つを指定する旨の指示を入力する。その結果、端末機から、コンテンツ試視聴用サーバに、上記識別データが送信され、更に、試視聴用コンテンツデータを指定する旨の指定信号が送信される。

演算処理装置は、上記識別データに対応し、且つ、上記指定信号により指定された試視聴用コンテンツデータを抽出し、その試視聴用コンテンツデータを上記端末機に配信する配信処理を実行する。

【0012】

(1)の発明によれば、記憶装置に、識別データのコンテンツに対応した複数種類の試視聴用コンテンツデータが記憶されており、利用者は、そのうちのどのデータを試視聴するかを指定することができるため、利用者の嗜好に沿った試視聴を可能とすることができる。また、コンテンツ試視聴用サーバから端末機に試視聴用コンテンツデータを配信するため、サーバによるデータの一元管理が可能になる。その結果、利用者の購買意欲をより確実に喚起することができる。

【0013】

本発明において「コンテンツ」は、映像及び/又は音声からなり、コンテンツには、例えば、映画、アニメ、音楽、音声等が含まれる。本発明において、コンテンツは、映像及び音声からなる音声付映像が望ましい。そのような音声付映像としては、映画やアニメ等を挙げることができる。

【0014】

本発明において「コンテンツデータ」とは、コンテンツを再生するためのデータをいう。上記コンテンツデータは、映像データ及び/又は音声データからなるものである。コンテンツが音声付映像である場合、コンテンツデータは映像データ及び音声データからなる。音声付映像が字幕を有するものである場合、字幕データもコンテンツデータに含まれるものである。

【0015】

本発明において「記録媒体」としては、特に限定されるものではなく、従来公知の記録媒体を挙げることができる。そのような記録媒体としては、例えばCD、DVD等を挙げることができる。また「パッケージ」は、記憶媒体を収納可能なものであれば、特に限定されるものではなく、例えば、記憶媒体の収納ケースや収納袋等を挙げることができる。更に「付属物」としては、例えば、パッケージに同封される宣伝広告用紙、パッケージの包装、記憶媒体又はそのパッケージに付される札等を挙げることができる。

【0016】

「コンテンツの識別データ」としては、コンテンツごとに割り当てられた数字、記号、符号等の組合せであれば、特に限定されるものではなく、例えば、商品の型番、管理番号等を挙げることができる。また、本発明において「コンテンツの識別データが付される」ことには、例えば、上記識別データがエンコードされた1次元コード(バーコード)又は2次元コード(例えば、QRコード(登録商標)等)等のコードが描かれること、該コードが描かれたシール等が貼着されること、上記識別データが記憶されたICチップを取り付けること等が含まれる。ICチップを取り付ける場合、識別データの読取方式は、接触又は非接触のいずれであってもよい。

10

20

30

40

50

【 0 0 1 7 】

さらに、本発明は、以下のようなものを提供する。

(2) 上記 (1) のコンテンツ試視聴用サーバであって、
上記記憶装置は、更に、上記コンテンツデータを記憶するものであり、
上記演算処理装置は、上記配信処理により配信された又は配信されている試視聴用コンテンツデータに対応するコンテンツを購入する旨の購入要求信号を上記端末機から受信した場合、該コンテンツに予め定められた額に応じた決済処理を行い、上記決済処理が完了したことを条件に、上記コンテンツデータを、上記端末機にダウンロードする処理を行うことを特徴とする。

【 0 0 1 8 】

10

(2) の発明によれば、利用者は、試視聴を行っているとき又は行った後に端末機を操作してコンテンツの購入を行うことができるため、高められた購買意欲を速やかに販売に繋げることができる。

【 0 0 1 9 】

上記 (2) の発明において、端末機は、利用者が所有する携帯用記憶媒体、又は、記憶媒体を備える携帯用再生装置を接続可能に構成され、上記端末機は、ダウンロードされた上記コンテンツデータを、上記携帯用記憶媒体、又は、上記携帯用再生装置が備える記憶媒体に記憶するように構成されていることが望ましい。購入手続きを簡便化することができるため、購買意欲をより円滑に販売に結び付けることができるからである。

【 0 0 2 0 】

20

さらに、本発明は、以下のようなものを提供する。

(3) 上記 (1) のコンテンツ試視聴用サーバであって、
1つの識別データに対応付けられたコンテンツは、複数の単位コンテンツからなり、
1つの識別データに対応付けられて上記記憶装置に記憶された複数種類の試視聴用コンテンツデータは、夫々、上記複数の単位コンテンツの夫々に対応するものであり、
上記記憶装置は、更に、上記単位コンテンツを再生するための単位コンテンツデータを記憶するものであり、
上記演算処理装置は、上記配信処理により配信された又は配信されている試視聴用コンテンツデータに対応する単位コンテンツを購入する旨の購入要求信号を上記端末機から受信した場合、該単位コンテンツに予め定められた額に応じた決済処理を行い、上記決済処理が完了したことを条件に、該単位コンテンツを再生するための単位コンテンツデータを、
上記端末機にダウンロードする処理を行うことを特徴とする。

30

【 0 0 2 1 】

(3) の発明によれば、利用者は、単位コンテンツごとの試視聴及び購入が可能になるため、購買意欲を喚起し易くなるとともに、購買意欲を販売に結び付け易くなる。

【 0 0 2 2 】

さらに、本発明は、以下のようなものを提供する。

(4) 上記 (1) ~ (3) のいずれか 1 のコンテンツ試視聴用サーバであって、
上記端末機は、携帯端末機であることを特徴とする。

【 0 0 2 3 】

40

店舗等に試視聴機を設置する場合、試視聴機の数に制限があるため、待ち時間が生じる可能性がある。また、設置場所が固定されているため、試視聴機のある場所まで行かなければ試視聴が行えないという問題がある。しかし、(4) の発明によれば、時間及び場所の制約を受けずに試視聴を行うことができるため、購買意欲を喚起し易くなる。

【 0 0 2 4 】

携帯端末機としては、例えば、携帯電話機、PDA (パーソナル・デジタル・アシスタント) 等を挙げることができる。

【 0 0 2 5 】

また、本発明は、以下のようなものを提供する。

(5) 上記 (1) ~ (4) のいずれか 1 のコンテンツ試視聴用サーバと、

50

上記コンテンツ試視聴用サーバと通信回線を介して通信可能な端末機とを備えたことを特徴とするコンテンツ試視聴システム。

【0026】

(5)の発明によれば、利用者の嗜好に沿った試視聴を可能とすることができる。また、コンテンツ試視聴用サーバから端末機に試視聴用コンテンツデータを配信するため、サーバによるデータの一元管理が可能になる。その結果、利用者の購買意欲をより確実に喚起することが可能になる。

【発明の効果】

【0027】

本発明によれば、利用者の購買意欲をより確実に喚起することが可能になる。

10

【発明を実施するための最良の形態】

【0028】

[第1実施形態]

図1は、第1実施形態に係るコンテンツ試視聴システムを模式的に示すネットワーク構成図である。

コンテンツ試視聴システム10は、コンテンツ試視聴用サーバ200と、携帯電話機300と、決済用サーバ400とを備えている。コンテンツ試視聴用サーバ200、携帯電話機300及び決済用サーバ400は、互いに通信回線(インターネット)120を介して通信を行うことが可能である。

【0029】

20

店舗(所謂CDショップ)110には、映像コンテンツを再生するための映像コンテンツデータが記録されたDVD(記録媒体)100が陳列されている。DVD100のパッケージ101には、2次元コード92が貼着されている。

2次元コード92は、QRコード(登録商標)であり、DVD100のコンテンツに割り当てられた識別データとしてのURLがエンコードされたものである。このURLは、インターネット上でのコンテンツ試視聴用サーバ200の所定のアドレス(ウェブサイトに含まれるウェブページのアドレス)を示すものである。

【0030】

利用者は、店舗110に陳列されているDVD100のパッケージ101に付された2次元コード92を、携帯電話機300が備えるCCDカメラ(撮像装置)308により撮像する。携帯電話機300は、CCDカメラ308が2次元コード92を撮像した際に得られる画像データから2次元コードを認識し、この認識した2次元コードから、識別データであるURLを得る。そして、携帯電話機300は、このURLによりコンテンツ試視聴用サーバ200にアクセスする(URLをコンテンツ試視聴用サーバ200に送信する)。

30

【0031】

コンテンツ試視聴用サーバ200が備えるハードディスクドライブ205(図示せず、図2参照)には、ウェブページを表示するための複数のウェブページデータが記憶されている。複数のウェブページデータは、夫々、識別データとしてのURLと対応付けられている。

40

【0032】

コンテンツ試視聴用サーバ200は、携帯電話機300から識別データとしてのURLを受信すると、URLに対応したウェブページデータを、ハードディスクドライブ205から抽出し、そのウェブページデータを携帯電話機300に送信する。

携帯電話機300は、サーバ200からウェブページデータを受信すると、そのウェブページデータに基づいてウェブページを表示する。

【0033】

このウェブページは、コンテンツに対応した複数種類の試視聴用コンテンツのサムネイルを含むものである(図9(a)参照)。各サムネイルは、試視聴用コンテンツを選択するための選択肢ボタンとしての機能を有するものであり、夫々に異なるURLが割り当てら

50

れている（リンクが設定されている）。

このURLは、コンテンツ試視聴用サーバ200のハードディスクドライブ205に記憶された試視聴用コンテンツデータのインターネット上のアドレスを示すものであり、上述した識別データとしてのURLに、パス名及び/又はファイル名が付加されたものである。

換言すると、1つのコンテンツに対応する複数種類の試視聴用コンテンツデータは、識別データとしてのURLに対応付けられており、各試視聴用コンテンツデータは、識別データとしてのURLにパス名が付加されたURLにより指定される。

【0034】

利用者は、携帯電話機300を操作することにより、複数のサムネイルのなかから、1つのサムネイルを選択する。携帯電話機300は、選択されたサムネイルに対応したURLによりコンテンツ試視聴用サーバ200にアクセスする（指定信号をコンテンツ試視聴用サーバ200に送信する）。

10

【0035】

コンテンツ試視聴用サーバ200が備えるハードディスクドライブ205（図示せず、図2参照）には、コンテンツごとに、複数種類の試視聴用コンテンツデータが記憶されている。1つのコンテンツに対応付けられた複数種類の試視聴用コンテンツデータは、識別データとしてのURLに対応付けられ、各試視聴用コンテンツデータには、そのURLにパス名が付加されたURLが割り当てられている。

20

【0036】

コンテンツ試視聴用サーバ200は、携帯電話機300から、試視聴用コンテンツデータごとに割り当てられたURLを受信すると、そのURLに対応した試視聴用コンテンツデータを、ハードディスクドライブ205から抽出し、携帯電話機300に配信する配信処理を行う。携帯電話機300では、配信された試視聴用コンテンツデータに基づいて、試視聴用コンテンツが再生される（図9（b）参照）。試視聴用コンテンツは、ストリーミングにより再生されてもよく、ダウンロードが完了した後に再生されることとしてもよい。

【0037】

携帯電話機300には、配信処理が行われているとき又は行われた後に、コンテンツの購入用ボタンが表示される（図9（b）参照）。利用者は、携帯電話機300を操作し、購入用ボタンを選択することができる。

30

購入用ボタンが選択されると、携帯電話機300は、コンテンツデータを購入する旨の購入要求信号を、コンテンツ試視聴用サーバ200に送信する。

コンテンツ試視聴用サーバ200は、決済に必要な情報の入力フォームを含むウェブページを表示するためのウェブページデータを、携帯電話機300に送信する。その結果、携帯電話機300には、そのウェブページが表示される。

【0038】

利用者は、携帯電話機300を操作し、ウェブページに設けられた欄に必要な情報を入力する。携帯電話機300は、入力された情報をコンテンツ試視聴用サーバ200に送信する。コンテンツ試視聴用サーバ200は、情報を決済用サーバ400に転送し、その後、決済用サーバ400において決済処理が行われる。決済処理が完了すると、決済用サーバ400からコンテンツ試視聴用サーバ200にその旨を示す通知信号が送信される。コンテンツ試視聴用サーバ200は、上記通知信号を受信したことを条件に、コンテンツデータを、携帯電話機300にダウンロードする処理を行う。

40

【0039】

コンテンツ試視聴システム10においては、先ず、利用者は、携帯電話機300を利用して、識別データとしてのURLを読み取り、コンテンツ試視聴用サーバ200に送信する。

その後、コンテンツ試視聴用サーバ200から送信されるウェブページデータに基づいて、携帯電話機300にウェブページが表示された際に、携帯電話機300を操作すること

50

により、ウェブページに含まれるサムネイルの何れか 1 を選択する。その結果、携帯電話機 300 から、試視聴用コンテンツデータを指定する旨の指定信号としての URL が送信される。

【0040】

コンテンツ試視聴用サーバ 10 におけるコンテンツ試視聴用サーバ 200 は、本発明のコンテンツ試視聴用サーバに相当するものである。本発明のコンテンツ試視聴用サーバは、必ずしも、1 台の装置からなる必要はなく、通信可能に接続された複数台の装置によって構成されるものであってもよい。

【0041】

本実施形態では、識別データが QR コードにエンコードされている場合について説明するが、本発明におけるコード情報は、QR コードに限定されず、他の従来公知の 2 次元コードにエンコードされたものであってもよい。また、バーコードにエンコードされたものであってもよく、IC チップに記憶されていてもよい。

10

【0042】

携帯電話機 300 は、本発明における端末機に相当するものである。なお、本発明の端末機は、識別データの読取装置を備え、且つ、コンテンツ試視聴用サーバと通信回線を介してデータの送受信を行うことが可能であれば、特に限定されるものではなく、例えば、パーソナル・デジタル・アシスタント、コンテンツ試視聴システムの専用の端末機等を挙げることができる。本発明における端末機は、利用者に携帯され得る携帯端末機であつてもよく、店舗に設置され得る設置型の端末機であつてもよいが、携帯端末機であることが望ましい。時間及び場所の制約を受けずに試視聴を行うことが可能となるため、利用者の購買意欲を喚起し易くなるからである。また、利用者の携帯端末機を用いることにより、携帯端末機の ID データ（例えば、端末製造番号、メールアドレス、電話番号等）ごとに、試視聴が行われたコンテンツの識別データに対応付けて、コンテンツ試視聴用サーバ 200 のハードディスクドライブ 205 等の記憶装置に記憶することにより、利用者の嗜好を把握することが可能となる。

20

【0043】

また、本実施形態においては、携帯電話機 300 とコンテンツ試視聴用サーバ 200 とが無線によりデータの送受信を行う場合について説明するが、本発明は、この例に限定されず、有線により送受信を行うこととしてもよい。すなわち、本発明における通信回線は、有線と、無線による伝送路とが含まれる。

30

【0044】

図 2 は、図 1 に示したコンテンツ試視聴用サーバの内部構成を示すブロック図である。コンテンツ試視聴用サーバ 200 は、演算処理装置としての CPU 201 と、ROM 202 と、RAM 203 と、携帯端末機 300 と通信回線を介して通信するための通信用インターフェイス回路 204 と、記憶装置としてのハードディスクドライブ 205 とを備えている。

【0045】

ハードディスクドライブ 205 には、コンテンツデータのデータベース（図 3 参照）と、試視聴用コンテンツデータのデータベース（図 4 参照）と、識別データのデータベース（図 5 参照）とが格納されている。また、ハードディスクドライブ 205 には、携帯端末機 300 にウェブページを表示するためのウェブページデータ等のデータが記憶されている。ハードディスクドライブ 205 は、1 つのハードディスクドライブから構成されている必要はなく、複数のハードディスクドライブから構成されていてもよい。

40

【0046】

図 3 は、コンテンツデータのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。コンテンツデータのデータベースでは、コンテンツの識別データ（パス名）に対応付けて、コンテンツデータが格納されている。コンテンツの識別データは、URL であり、コンテンツ試視聴用サーバ 200 のホスト名と、上記データベースに格納されたパス名とを含むものである。図中では、パス名のみを示している。

50

【 0 0 4 7 】

コンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 のデータベースに格納されるコンテンツデータは、店舗 1 1 0 に陳列された D V D 1 0 0 に記録されたコンテンツデータが、携帯電話機 3 0 0 の記憶及び再生が可能なサイズまで縮小されたものである。

本発明において、コンテンツ試視聴用サーバの記憶装置に記憶されるコンテンツデータは、記録媒体に記録されるコンテンツデータと同一のものであってもよく、本実施形態のように、画像処理が行われたコンテンツデータであっててもよく、また予告編等を除いた本編のみのコンテンツデータであっててもよい。

【 0 0 4 8 】

図 4 は、試視聴用コンテンツデータのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。

試視聴用コンテンツデータのデータベースでは、試視聴用コンテンツデータの識別データ（パス名）に対応付けて、試視聴用コンテンツデータが格納されている。試視聴用コンテンツデータの識別データは、上述した識別データとしての U R L に、パス名及び / 又はファイル名が付加されたものである。試視聴用コンテンツデータとしては、例えば、映画の予告編の映像データ、映画の映画評論家推奨シーンの映像データ、映画の全編の映像データ、映画の所定シーンの映像データ等を挙げることができる。1 のコンテンツデータに対して、上述した複数種類の映像データのうち、少なくとも 2 種類の映像データが、ハードディスクドライブ 2 0 5（記憶装置）に記憶されていることが望ましい。コンテンツの多面的な紹介が可能となり、購買意欲を喚起し易くなるからである。

【 0 0 4 9 】

図 5 は、識別データのデータベースのデータ構造を模式的に示す概念図である。

識別データのデータベースでは、コンテンツの識別データ（パス名）に対応付けて、コンテンツデータの金額データ、アクセス履歴データ、購入履歴データが格納されている。

コンテンツの金額データは、そのコンテンツの金額を示すデータである。

アクセス履歴データは、そのコンテンツの識別データによってコンテンツ試視聴用サーバにアクセスされた回数、時刻、アクセス元の携帯電話機の端末識別情報（メールアドレス、電話番号、製造識別番号等）等を示すデータを含むものである。

購入履歴データは、そのコンテンツデータが購入された回数、時刻、購入先の携帯電話機の端末識別情報（メールアドレス、電話番号、製造識別番号等）、どの試視聴用コンテンツデータを視聴した後にコンテンツデータを購入したかを示すデータを含むものである。

【 0 0 5 0 】

また、コンテンツの識別データ（パス名）には、試視聴用コンテンツデータの識別データ（パス名）が対応付けられている。さらに、各試視聴用コンテンツデータの識別データ（パス名）には、試視聴用コンテンツデータの金額データ、試視聴履歴データ、購入履歴データが格納されている。

試視聴用コンテンツデータの金額データは、その試視聴用コンテンツの金額を示すデータである。

試視聴履歴データは、その試視聴用コンテンツデータを携帯電話機 3 0 6 に配信した回数、時刻、配信先の携帯電話機の端末識別情報（メールアドレス、電話番号、製造識別番号等）を示すデータを含むものである。

購入履歴データは、そのコンテンツデータが購入された回数、時刻、購入先の携帯電話機の端末識別情報（メールアドレス、電話番号、製造識別番号等）を示すデータを含むものである。

【 0 0 5 1 】

図 6 は、第 1 実施形態に係る携帯電話機の内部構成を示すブロック図である。

なお、携帯電話機 3 0 0 は、本発明における端末機に相当する。

携帯電話機 3 0 0 は、操作部 3 0 4、液晶パネル 3 0 6、C C D カメラ 3 0 8、無線部 3 1 0、音声回路 3 1 2、スピーカ 3 1 4、マイク 3 1 6、送受信アンテナ 3 1 8、不揮発性メモリ 3 2 0、マイクロコンピュータ 3 2 2 及び二次電池 3 2 4 を備えている。

【 0 0 5 2 】

無線部 3 1 0 は、マイクロコンピュータ 3 2 2 により制御されて、送受信アンテナ 3 1 8 を通じて電波を媒体として基地局に対して送受信する。音声回路 3 1 2 は、無線部 3 1 0 からマイクロコンピュータ 3 2 2 を通じて出力された受信信号をスピーカ 3 1 4 に出力するとともに、マイク 3 1 6 から出力された音声信号を送信信号としてマイクロコンピュータ 3 2 2 を通じて無線部 3 1 0 に出力する。

【 0 0 5 3 】

スピーカ 3 1 4 は、音声回路 3 1 2 から出力された受信信号を受信音声に変換して出力し、マイク 3 1 6 は、操作者から発せられた送信音声を変換して音声回路 3 1 2 に出力する。CCDカメラ 3 0 8 は、2次元コード 9 2 を撮像可能であり、撮像して得られた画像データは不揮発性メモリ 3 2 0 に記憶される。本実施形態では、CCDカメラを用いる場合について説明するが、本発明において、撮像装置は、例えば、CMOSセンサカメラ等であってもよい。

10

【 0 0 5 4 】

不揮発性メモリ 3 2 0 は、例えば、CCDカメラ 3 0 8 が2次元コード 9 2 を撮像して得られた画像データや、配信された画像データ、ダウンロードされた画像データ等の各種データや各種プログラムを不揮発的に記憶する。二次電池 3 2 4 は、各回路に電力を供給する。マイクロコンピュータ 3 2 2 は、CPU、ROM及びRAMから構成されたもので、例えば、電話の発着信処理、電子メールの作成送受信処理、インターネット処理等を行う。なお、電子メールの送受信及びインターネットによるデータの送受信は、マイクロコンピュータ 3 2 2 が無線部 3 1 0 及び送受信アンテナ 3 1 8 を介して行う。

20

【 0 0 5 5 】

次に、コンテンツ試視聴用サーバと、携帯電話機とにおいて行われる処理について説明する。

図 7 は、第 1 実施形態に係るコンテンツ試視聴用サーバと携帯電話機との間で行われる処理を示すフローチャートである。

図 8 は、第 1 実施形態に係る携帯電話機において実行される2次元コード認識処理のサブルーチンを示すフローチャートである。

図 9 (a)、(b) は、第 1 実施形態に係る携帯電話機に表示される画像を示す図である。

30

【 0 0 5 6 】

まず、携帯電話機 3 0 0 が備えるマイクロコンピュータ 3 2 2 は、操作部 3 0 4 を介して入力された指示に基づいて、CCDカメラ 3 0 8 を駆動させ、CCDカメラ 3 0 8 は、2次元コード 9 2 を撮像する (ステップ S 1 0 0)。その後、マイクロコンピュータ 3 2 2 は、ステップ S 1 0 0 において得られた画像データを不揮発性メモリ 3 2 0 に記憶させる (ステップ S 1 0 1)。次に、マイクロコンピュータ 3 2 2 は、2次元コード認識処理を行い、この認識した2次元コードから識別データとしてのURLを取得する (ステップ S 1 0 2)。

【 0 0 5 7 】

ここで、2次元コード認識処理について説明する。

40

まず、マイクロコンピュータ 3 2 2 は、不揮発性メモリ 3 2 0 に記憶された画像データに対して画像変換処理を行う (ステップ S 7 0 0)。画像変換処理は、撮像されて得られた画像データから、2次元コードが表示されている領域の画像データを抜き出し、傾きや歪みを補正し、所定の閾値によりモノクロ画像に変換し、正面視した2次元コードを含む画像データを得る処理である。

【 0 0 5 8 】

次に、マイクロコンピュータ 3 2 2 は、ステップ S 7 0 0 において得られた画像データから2次元コードを抽出し、ノイズ除去等の補正を行う (ステップ S 7 0 1)。

次に、マイクロコンピュータ 3 2 2 は、ステップ S 7 0 1 において得られた2次元コードの2値化処理を行い、2次元コードを構成する各ドットを “ 0 ” 又は “ 1 ” に置き換え (

50

ステップS702)、2値化マトリックスデータを生成する(ステップS703)。
次に、マイクロコンピュータ322は、2値化マトリックスデータをデコードし(ステップS704)、識別データを生成する(ステップS705)。その後、本サブルーチンを終了し、図7に示したフローチャートのステップS103に処理を移すのである。

【0059】

次に、マイクロコンピュータ322は、ステップS102における2次元コード認識処理により得られた識別データを、携帯電話機300の端末識別情報とともに、無線部310及び送受信アンテナ318により、インターネットを介してサーバ200に送信する(ステップS103)。

【0060】

サーバ200が備えるCPU201は、携帯電話機300からインターネットを介して、識別データと携帯電話機300の端末識別情報とを受信すると、識別データのデータベース(図5参照)のアクセス履歴データを更新し、その識別データに対応したウェブページデータを携帯電話機300に送信する(ステップS200)。

携帯電話機300は、ウェブページデータを受信すると、液晶パネル306に、ウェブページを表示する。ウェブページは、図9(a)に示すように、複数のサムネイル306aを含むものである。図中、液晶パネル306上に示した下線付の符号は、試視聴用コンテンツデータの識別データ(図4参照)に対応しており、液晶パネル306の当該箇所には、その識別データに対応した試視聴用コンテンツの画像が配置される。

【0061】

各サムネイル306aは、試視聴用コンテンツを選択するための選択肢ボタンとしての機能を有するものであり、夫々に異なるURLが割り当てられている(リンクが設定されている)。このURLは、コンテンツ試視聴用サーバ200のハードディスクドライブ205に記憶された試視聴用コンテンツデータのインターネット上のアドレスを示すものであり、上述した識別データとしてのURLに、各試視聴用コンテンツデータに割り当てられたパス名が付加されたものである。

【0062】

利用者は、操作部304を操作し、所望のサムネイル306aを選択することができる。サムネイル306aが操作されると、マイクロコンピュータ322は、選択されたサムネイル306aを指定する指定信号(試視聴用コンテンツデータのURLを示す信号)を、コンテンツ試視聴用サーバ200に送信する。

【0063】

サーバ200が備えるCPU201は、携帯電話機300からインターネットを介して指定信号(URLを示す信号)を受信すると、識別データに対応し、且つ、指定信号により指定された試視聴用コンテンツデータを、ハードディスクドライブ205から抽出する(ステップS201)。次に、サーバ200が備えるCPU201は、抽出された試視聴用コンテンツデータを、携帯電話機300に配信する(ステップS202)。

【0064】

マイクロコンピュータ322は、コンテンツ試視聴用サーバ200から試視聴用コンテンツデータを受信すると、ストリーミングにより試視聴用コンテンツを再生する(ステップS106)。例えば、ステップS105において、映画Aの予告編の映像データ(パス名:a01)が選択された場合、ステップS106において、液晶パネル306には、図9(b)に示すように、映画Aの予告編の映像が表示される。また、液晶パネル306の右下には「購入」ボタン306cが表示されている。

【0065】

利用者は、携帯電話機300を操作することにより、「購入」ボタン306cを選択することができる。携帯電話機300は、「購入」ボタンに対応したURLによりコンテンツ試視聴用サーバ200にアクセスする(購入要求信号をコンテンツ試視聴用サーバ200に送信する)(ステップS107)。

【0066】

10

20

30

40

50

サーバ 200 が備える CPU 201 は、携帯電話機 300 からインターネットを介して購入要求信号（URL を示す信号）を受信すると、入力フォームを含むウェブページを表示するためのウェブページデータを、ハードディスクドライブ 205 から抽出し、携帯電話機 300 に送信する（ステップ S 203）。

【0067】

マイクロコンピュータ 322 は、コンテンツ試視聴用サーバ 200 から上記ウェブページデータを受信すると、そのデータに基づいて、液晶パネル 306 に、入力フォームを表示する（ステップ S 108）。利用者は、操作部 304 を操作し、入力フォームに必要な情報を入力することができる。情報の入力完了すると、マイクロコンピュータ 322 は、コンテンツ試視聴用サーバ 200 に、その情報を送信する。

その後、携帯電話機 300、コンテンツ試視聴用サーバ 200 及び決済用サーバ 400 によって決済処理が行われる（ステップ S 110）。この処理は、従来公知の処理であるから、説明は省略する。

【0068】

コンテンツ試視聴用サーバ 200 は、決済処理が完了すると、試視聴された試視聴用コンテンツに対応するコンテンツデータを、ハードディスクドライブ 205 から抽出し、携帯電話機 300 にダウンロードする（ステップ S 204）。

マイクロコンピュータ 322 は、コンテンツ試視聴用サーバ 200 からコンテンツデータを受信すると、不揮発性メモリ 320 に記憶させる（ステップ S 111）。

【0069】

第 1 実施形態に係るコンテンツ試視聴用サーバ 200 によれば、ハードディスクドライブ 205 に、識別データのコンテンツに対応した複数種類の試視聴用コンテンツデータが記憶されており（図 3～図 5 参照）、利用者は、そのうちのどのデータを試視聴するかを指定することができるため、利用者の嗜好に沿った試視聴を可能とすることができる。

また、コンテンツ試視聴用サーバ 200 から携帯電話機 300 に試視聴用コンテンツデータを配信するため、データの一元管理が可能になる。その結果、利用者の購買意欲をより確実に喚起することができる。

【0070】

[第 2 実施形態]

第 2 実施形態に係るコンテンツ試視聴システムは、第 1 実施形態と、DVD 100 が CD であることを除いて、ネットワーク構成（図 1 参照）、並びに、コンテンツ試視聴用サーバ及び携帯電話機のハード構成（図 2、図 6 参照）が同様である。そこで、第 2 実施形態では、第 1 実施形態における構成要素と対応する構成要素には同一の符号を付して説明することとする。

【0071】

図 10 は、第 2 実施形態に係るコンテンツデータのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。

コンテンツデータのデータベースでは、コンテンツの識別データ（パス名）に対応付けて、コンテンツを構成する単位コンテンツデータが格納されている。各単位コンテンツデータには、単位コンテンツの識別データ（パス名）が対応付けられている。

コンテンツは、楽曲 CD における所謂アルバムであり、複数の楽曲からなる。各楽曲が単位コンテンツに相当する。コンテンツの識別データは、URL であり、コンテンツ試視聴用サーバ 200 のホスト名と、上記データベースに格納されたパス名とを含むものである。図中では、パス名のみを示している。

【0072】

図 11 は、第 2 実施形態に係る試視聴用コンテンツデータのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。

試視聴用コンテンツデータのデータベースでは、試視聴用コンテンツデータの識別データ（パス名）に対応付けて、試視聴用コンテンツデータが格納されている。試視聴用コンテンツデータの識別データは、単位コンテンツデータの識別データに、パス名が付加された

10

20

30

40

50

ものである。試視聴用コンテンツデータのデータベースでは、1つの単位コンテンツに対して、複数の試視聴用コンテンツデータが格納されている。試視聴用コンテンツデータとしては、例えば、当該楽曲のイントロ部分のデータ、サビ部分のデータ、全体のデータ等を挙げることができる。

【0073】

図12は、第2実施形態に係る識別データのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。

識別データのデータベースでは、コンテンツの識別データ(パス名)に対応付けて、単位コンテンツの識別データ、単位コンテンツデータの金額データ、アクセス履歴データ、購入履歴データが格納されている。

単位コンテンツの金額データは、単位コンテンツの金額を示すデータである。

アクセス履歴データは、その単位コンテンツに対してアクセスされた回数、時刻、アクセス元の携帯電話機の端末識別情報等を示すデータを含むものである。

購入履歴データは、その単位コンテンツデータが購入された回数、時刻、購入先の携帯電話機の端末識別情報、単位コンテンツに対応付けられた複数種類の試視聴用コンテンツのうち、どの試視聴用コンテンツを視聴した後に、その単位コンテンツを購入したかを示すデータを含むものである。

【0074】

また、単位コンテンツの識別データ(パス名)には、試視聴用コンテンツデータの識別データ(パス名)が対応付けられている。さらに、試視聴用コンテンツデータの識別データ(パス名)には、試視聴履歴データ、購入履歴データが格納されている。

試視聴履歴データは、その試視聴用コンテンツデータを携帯電話機300に配信した回数、時刻、配信先の携帯電話機の端末識別情報等を示すデータを含むものである。

購入履歴データは、そのコンテンツデータが購入された回数、時刻、購入先の携帯電話機の端末識別情報等を示すデータを含むものである。

【0075】

図13は、第2実施形態に係るコンテンツ試視聴用サーバと携帯電話機との間で行われる処理を示すフローチャートである。

まず、携帯電話機300が備えるマイクロコンピュータ322は、操作部を介して入力された指示に基づいて、CCDカメラ308を駆動させ、CCDカメラ308は、2次元コード92を撮像する(ステップS120)。その後、マイクロコンピュータ322は、ステップS120において得られた画像データを不揮発性メモリ320に記憶させる(ステップS121)。次に、マイクロコンピュータ322は、2次元コード認識処理(図8参照)を行い、この認識した2次元コードから識別データとしてのURLを取得する(ステップS122)。

【0076】

次に、マイクロコンピュータ322は、ステップS122における2次元コード認識処理により得られた識別データを、携帯電話機300の端末識別情報とともに、無線部310及び送受信アンテナ318により、インターネットを介してサーバ200に送信する(ステップS123)。

【0077】

コンテンツ試視聴用サーバ200が備えるCPU201は、携帯電話機300からインターネットを介して、識別データと携帯電話機300の端末識別情報とを受信すると、その識別データに対応したウェブページデータを携帯電話機300に送信する(ステップS124)。

携帯電話機300は、ウェブページデータを受信すると、液晶パネル306に、ウェブページを表示する。ウェブページは、単位コンテンツである楽曲名を示す文字情報を含むものである。各楽曲名の文字情報は、単位コンテンツを選択するための選択肢ボタンとしての機能を有するものであり、夫々に異なるURLが割り当てられている(リンクが設定されている)。

10

20

30

40

50

【 0 0 7 8 】

利用者は、操作部 3 0 4 を操作し、所望の単位コンテンツを選択することができる。単位コンテンツが選択されると、液晶パネル 3 0 6 には、その単位コンテンツに対応付けられた試視聴用コンテンツデータの名称を示す文字情報（「イントロ」、「サビ」、「全曲」）が表示される。各文字情報は、試視聴用コンテンツを選択するための選択肢ボタンとしての機能を有するものであり、夫々に異なる URL が割り当てられている（リンクが設定されている）。この URL は、コンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 のハードディスクドライブ 2 0 5 に記憶された試視聴用コンテンツデータのインターネット上のアドレスを示すものであり、単位コンテンツの識別データとしての URL に、各試視聴用コンテンツデータに割り当てられたパス名が付加されたものである。

10

【 0 0 7 9 】

利用者は、操作部 3 0 4 を操作し、所望の文字情報を選択することができる。文字情報が選択されると、マイクロコンピュータ 3 2 2 は、選択された文字情報に対応した試視聴用コンテンツデータを指定する指定信号（試視聴用コンテンツデータの URL を示す信号）を、コンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 に送信する。

【 0 0 8 0 】

サーバ 2 0 0 が備える CPU 2 0 1 は、携帯電話機 3 0 0 からインターネットを介して師弟信号（URL を示す信号）を受信すると、識別データに対応し、且つ、指定信号により指定された試視聴用コンテンツデータを、ハードディスクドライブ 2 0 5 から抽出する（ステップ S 2 2 1）。次に、サーバ 2 0 0 が備える CPU 2 0 1 は、抽出された試視聴用コンテンツデータを、携帯電話機 3 0 0 に配信する（ステップ S 2 2 2）。

20

【 0 0 8 1 】

マイクロコンピュータ 3 2 2 は、コンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 から試視聴用コンテンツデータを受信すると、ストリーミングにより試視聴用コンテンツを再生する（ステップ S 1 2 7）。このとき、液晶パネル 3 0 6 の所定箇所には、「購入ボタン」（図示せず）が表示される。

【 0 0 8 2 】

利用者は、携帯電話機 3 0 0 を操作することにより、「購入」ボタンを選択することができる。携帯電話機 3 0 0 は、「購入」ボタンに対応した URL によりコンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 にアクセスする（購入要求信号をコンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 に送信する）（ステップ S 1 2 8）。

30

【 0 0 8 3 】

サーバ 2 0 0 が備える CPU 2 0 1 は、携帯電話機 3 0 0 からインターネットを介して購入要求信号（URL を示す信号）を受信すると、入力フォームを含むウェブページを表示するためのウェブページデータを、ハードディスクドライブ 2 0 5 から抽出し、携帯電話機 3 0 0 に送信する（ステップ S 2 2 3）。

【 0 0 8 4 】

マイクロコンピュータ 3 2 2 は、コンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 から上記ウェブページデータを受信すると、そのデータに基づいて、液晶パネル 3 0 6 に、入力フォームを表示する（ステップ S 1 0 8）。利用者は、操作部 3 0 4 を操作し、入力フォームに必要な情報を入力することができる。情報の入力が完了すると、マイクロコンピュータ 3 2 2 は、コンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 に、その情報を送信する。

40

その後、携帯電話機 3 0 0、コンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 及び決済用サーバ 4 0 0 によって決済処理が行われる（ステップ S 1 3 1）。この処理は、従来公知の処理であるから、説明は省略する。

【 0 0 8 5 】

コンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 は、決済処理が完了すると、試視聴された試視聴用コンテンツに対応する単位コンテンツデータを、ハードディスクドライブ 2 0 5 から抽出し、携帯電話機 3 0 0 にダウンロードする（ステップ S 2 0 4）。

マイクロコンピュータ 3 2 2 は、コンテンツ試視聴用サーバ 2 0 0 からコンテンツデータ

50

を受信すると、不揮発性メモリ 320 に記憶させる（ステップ S132）。

【0086】

第2実施形態に係るコンテンツ試視聴用サーバ200によれば、利用者は、単位コンテンツごとに試視聴及び購入が可能になるため、購買意欲を喚起し易くなるとともに、購買意欲を販売に結び付け易くなる。

【0087】

以上、本発明の実施形態を説明したが、具体例を例示したに過ぎず、特に本発明を限定するものではなく、各手段等の具体的構成は、適宜設計変更可能である。また、本発明の実施形態に記載された効果は、本発明から生じる最も好適な効果を列挙したに過ぎず、本発明による効果は、本発明の実施形態に記載されたものに限定されるものではない。

10

【図面の簡単な説明】

【0088】

【図1】第1実施形態に係るコンテンツ試視聴システムを模式的に示すネットワーク構成図である。

【図2】第1実施形態に係るコンテンツ試視聴用サーバの内部構成を示すブロック図である。

【図3】第1実施形態に係るコンテンツデータのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。

【図4】第1実施形態に係る試視聴用コンテンツデータのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。

20

【図5】第1実施形態に係る識別データのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。

【図6】第1実施形態に係る携帯電話機（端末機）の内部構成を示すブロック図である。

【図7】第1実施形態に係るコンテンツ試視聴用サーバと携帯電話機との間で行われる処理を示すフローチャートである。

【図8】第1実施形態に係る携帯電話機において実行される2次元コード認識処理のサブルーチンを示すフローチャートである。

【図9】（a）、（b）は、第1実施形態に係る携帯電話機に表示される画像を示す図である。

【図10】第2実施形態に係るコンテンツデータのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。

30

【図11】第2実施形態に係る試視聴用コンテンツデータのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。

【図12】第2実施形態に係る識別データのデータベースのデータ構成を模式的に示す概念図である。

【図13】第2実施形態に係るコンテンツ試視聴用サーバと携帯電話機との間で行われる処理を示すフローチャートである。

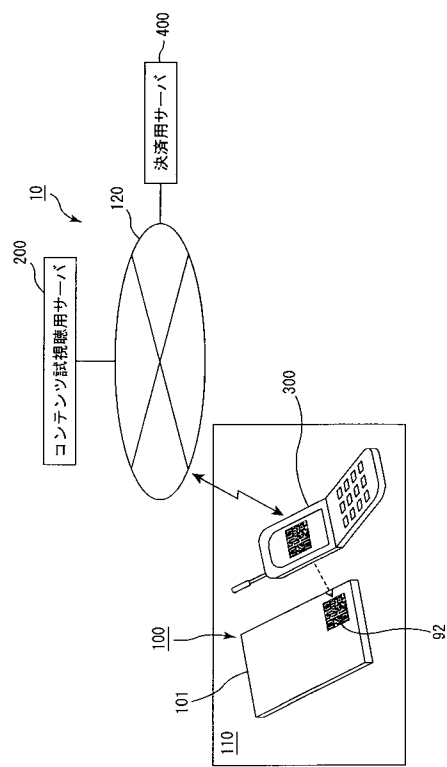
【符号の説明】

【0089】

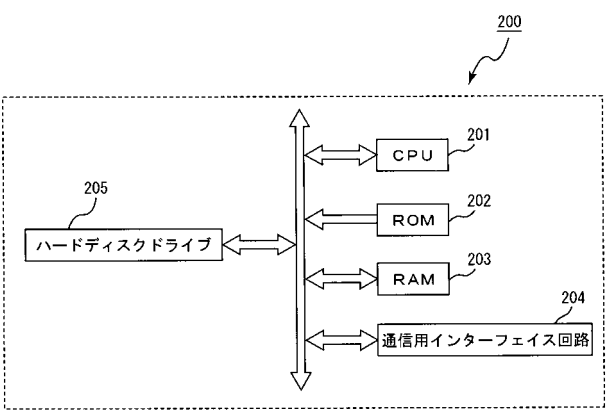
- 10 コンテンツ試視聴システム
- 92 2次元コード（識別データ）
- 100 DVD
- 101 パッケージ
- 110 店舗
- 200 コンテンツ試視聴用サーバ
- 300 携帯電話機
- 400 決済用サーバ

40

【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】

コンテンツデータのデータベース	
コンテンツの識別データ (バス名)	コンテンツデータ
A	映画Aの映像データ
B	映画Bの映像データ
C	映画Cの映像データ
D	映画Dの映像データ
E	映画Eの映像データ
F	映画Fの映像データ
G	映画Gの映像データ
...	...

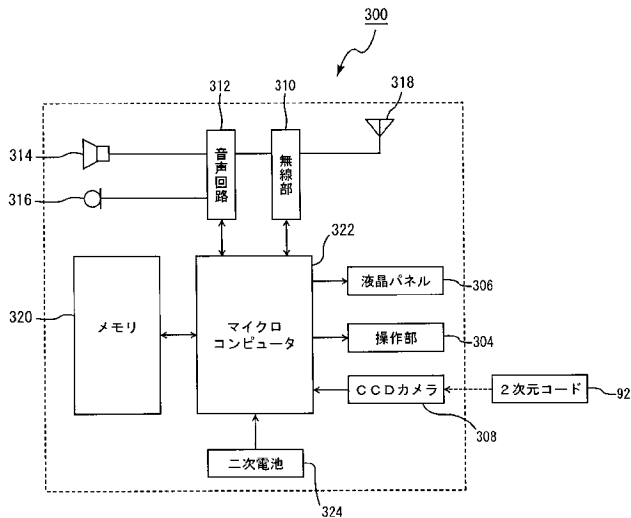
【 図 4 】

試視聴用コンテンツデータのデータベース	
試視聴用コンテンツデータの識別データ (バス名)	試視聴用コンテンツデータ
a01	映画Aの予告編の映像データ
a11	映画Aの映画評論家X推奨シーンの映像データ
a12	映画Aの映画評論家Y推奨シーンの映像データ
a13	映画Aの映画評論家Z推奨シーンの映像データ
a20	映画Aの全編の映像データ
a21	映画Aの第1シーンの映像データ
a22	映画Aの第2シーンの映像データ
...	...
...	...
...	...
b01	映画Bの予告編の映像データ
b11	映画Bの映画評論家X推奨シーンの映像データ
b12	映画Bの映画評論家Y推奨シーンの映像データ
b13	映画Bの映画評論家Z推奨シーンの映像データ
b20	映画Bの全編の映像データ
b21	映画Bの第1シーンの映像データ
b22	映画Bの第2シーンの映像データ
...	...
...	...
...	...

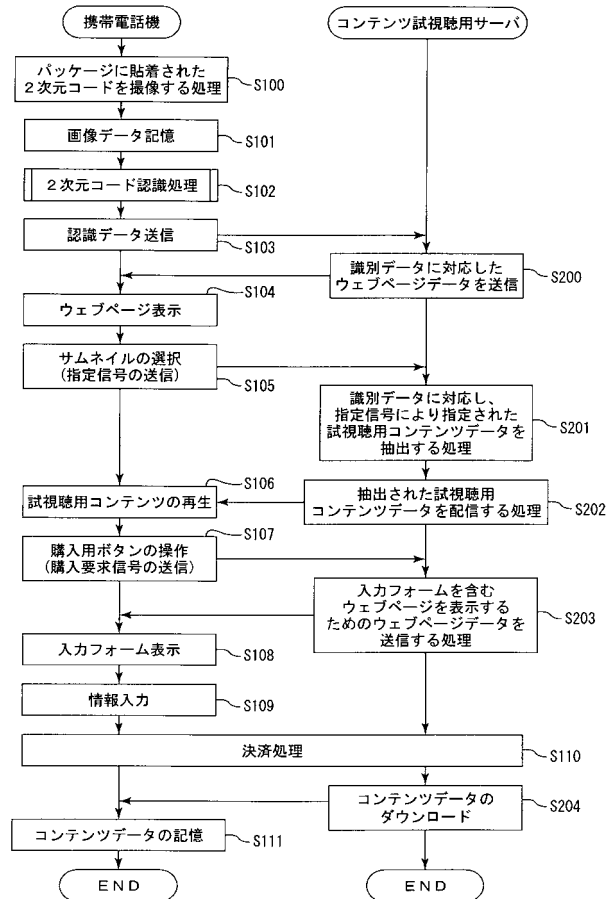
【 図 5 】

識別データのデータベース					
コンテンツの識別データ (バス名)	試視聴用コンテンツデータの識別データ (バス名)	試視聴用コンテンツデータの金額データ	試視聴履歴データ	購入履歴データ	アクセス履歴データ
a01	a01				
a11	a11				
a12	a12				
a13	a13				
a20	a20				
a21	a21				
a22	a22				
...	...				
b01	b01				
b11	b11				
b12	b12				
b13	b13				
b20	b20				
b21	b21				
b22	b22				
...	...				
A					
B					
...					

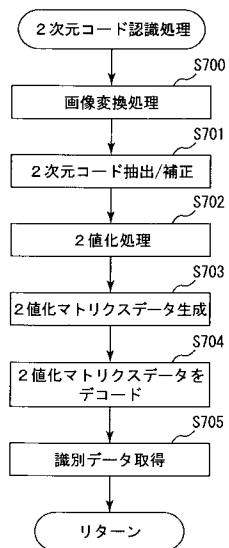
【図 6】



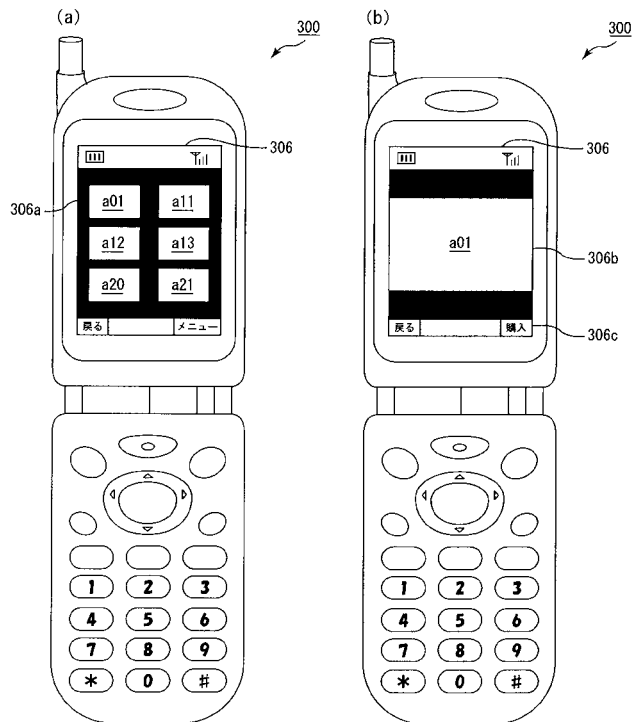
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

コンテンツデータのデータベース			
コンテンツの 識別データ (パス名)	コンテンツ	単位コンテンツの 識別データ (パス名)	単位 コンテンツ
A	アルバムA	a01	楽曲a01
		a02	楽曲a02
		a03	楽曲a03
		⋮	⋮
B	アルバムB	b01	楽曲b01
		b02	楽曲b02
		b03	楽曲b03
		⋮	⋮

【図 11】

試視聴用コンテンツデータのデータベース		
試視聴用 コンテンツデータの 識別データ (パス名)	単位 コンテンツ	試視聴用 コンテンツデータ
a01a	楽曲a01	イントロ部分
a01b		サビ部分
a01c		全体
a02a	楽曲a02	イントロ部分
a02b		サビ部分
a02c		全体
a03a	楽曲a03	イントロ部分
a03b		サビ部分
a03c		全体
⋮	⋮	⋮
b01a	楽曲b01	イントロ部分
b01b		サビ部分
b01c		全体
b02a	楽曲b02	イントロ部分
b02b		サビ部分
b02c		全体
b03a	楽曲b03	イントロ部分
b03b		サビ部分
b03c		全体
⋮	⋮	⋮

【図 12】

識別データのデータベース									
コンテンツの 識別データ (パス名)	単位コンテンツの 識別データ (パス名)	単位コンテンツ データの 金額データ	単位コンテンツ データの 試視聴用 データ	購入履歴 データ	試視聴履歴 データ	試視聴用 コンテンツ データの 識別データ (パス名)	試視聴履歴 データ	購入履歴 データ	購入履歴 データ
A	a01	⋮	⋮	⋮	⋮	a01a	⋮	⋮	⋮
	a02	⋮	⋮	⋮	⋮	a01b	⋮	⋮	⋮
	a03	⋮	⋮	⋮	⋮	a01c	⋮	⋮	⋮
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	a02a	⋮	⋮	⋮
B	b01	⋮	⋮	⋮	⋮	a02b	⋮	⋮	⋮
	b02	⋮	⋮	⋮	⋮	a02c	⋮	⋮	⋮
	b03	⋮	⋮	⋮	⋮	a03a	⋮	⋮	⋮
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	a03b	⋮	⋮	⋮

【図 13】

